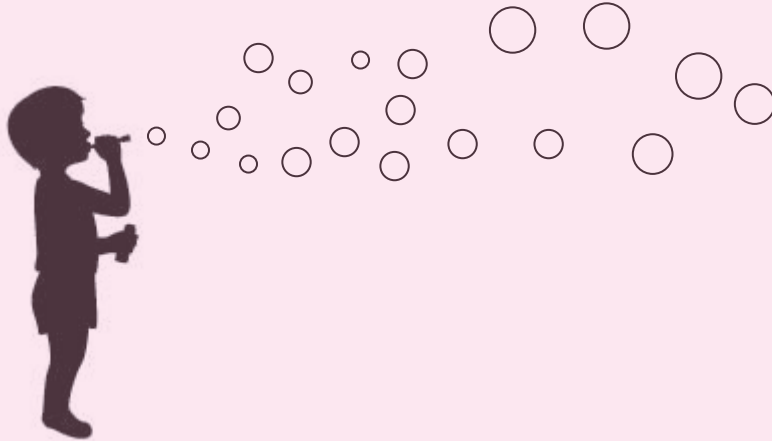


フォーラム ポスト 3.11 子どもたちの未来、子どもの本の未来



日時：2014年11月15日（土）午後2時～4時30分（予定）

会場：平安女学院大学、京都Mホール

対象：一般（中学生以上）

参加費：500円

定員：120名 ※事前申込みが必要です（申し込み方法は裏面）

〈プログラム〉

第一部 基調講演「3.11後の子どもの本」

講師 野上暁（作家、日本ペンクラブ常務理事）

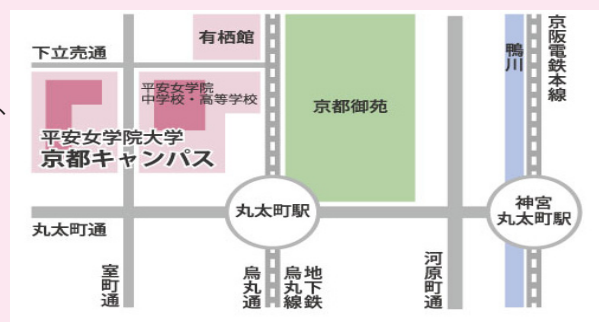
第二部 シンポジウム「3.11後の子どもたちの未来、子どもの本の未来」

パネリスト： 朽木祥（作家）、越水利江子（作家）、芝田勝茂（作家）、
濱野京子（作家）、ひこ・田中（作家）、松原秀行（作家）、
森絵都（作家、日本ペンクラブ「子どもの本」委員長）

アクセス

〒602-8013 京都市上京区烏丸通下立売西入

地下鉄丸太町駅（平安女学院前）の2番出口を上がり、
御所に沿って北へ徒歩約3分



主催：一般社団法人日本ペンクラブ 共催：学校法人平安女学院

後援：京都新聞、一般社団法人日本国際児童図書評議会、一般財団法人出版文化産業振興財団

2011年3月11日、巨大地震と津波、そして原発事故をきっかけに、多くの人々が自分たちのこれまでを省みて、「変わらなければ」と考えました。そして、子どもたちのためによりよい未来を作るべく「変えなければ」とも考えたはずです。

3年経った今、この国はどう変わったのでしょうか。日本政府は原発を輸出しようとしています。そして国内の原発を再稼働させようとしています。児童ポルノ法、秘密保護法の名のもと、言論表現の自由と国民の知る権利を奪い、憲法の解釈を変更することにより、戦争に加わることを可能にしました。国家安全保障戦略では武器輸出の鎖を解き、各々の心の問題であるはずの愛国心を押し付けようとしています。

私達が思い描いたはずの「未来」とはかけ離れたこの現状を、どのように子どもたちに伝えればよいのでしょうか。子どもの本に関わる人々は、今、何を考えているのでしょうか。

いま一度、3.11に立ち返り、あの震災が私達に投げかけた問題と私達に及ぼした影響を見つめ直し、子どもの本の作り手たちと一緒に、この3年間私達は何をしてきたのか、これから子どもたちに何を伝えていくべきかを考えます。

<出演者プロフィール>

○朽木 祥

広島市生まれ。被爆二世。『かはたれ』（福音館書店）で児童文学者協会新人賞他、『風の靴』（講談社）で産経児童出版文化賞大賞、ヒロシマを描いた近著『光のうつしえ』（講談社）で小学館児童出版文化賞他受賞。ほかに『八月の光』（偕成社）など。

○越水利江子

土佐生まれ、京都市育ち。全編、京都弁で語るデビュー作『風のラヴソング』で芸術選奨新人賞、日本児童文学者協会新人賞。『あした、出会った少年』で児童文芸家協会賞。近著に『忍剣花百姫伝』（ポプラ社）『あいしてくれて、ありがとう』（岩崎書店）など。

○芝田 勝茂

石川県出身。著書はシリーズ「ドーム郡小史」（小峰書店・日本児童文芸家協会賞）原発や人類の危機を描いた「きみに会いたい」（あかね書房）「進化論」（講談社）、自然の神々との交感を描く「ふるさと、夏」（福音館書店・産経児童出版文化賞）など多岐。

○野上 暁

長野県出身。作家、評論家。出版社にて児童雑誌や児童図書、一般図書の編集に携わる。白百合女子大学児童文化学科、東京成徳大学子ども学部講師などを歴任。近著に『いま、子どもに読ませたい本』（成美堂出版）ほか。

○濱野 京子

熊本県に生まれ、東京で育つ。2006年『天下無敵のお嬢さま！(1)けやき御殿のメリーさん』（童心社）でデビュー。2009年『フュージョン』（講談社）でJBBY賞、2010年『トーキョー・クロスロード』（ポプラ社）で坪田譲治文学賞受賞。

○ひこ・田中

大阪府生まれ。1990年『お引越し』（福音館）で第1回椋鳩十児童文学賞受賞。1997年『ごめん』（偕成社）で第44回産経児童出版文化賞JR賞受賞。『児童文学書評』主宰。近著に『ふしぎなふしぎな子どもの物語』（光文社）、ほか。

○松原 秀行

神奈川県生まれ。フリーライターとして様々なジャンルで執筆する一方、児童文学を書き続ける。著作に「パスワードシリーズ」、『竜太と青い薔薇』（講談社青い鳥文庫）等。

○森 絵都

1991年第31回講談社児童文学新人賞を受賞した『リズム』がデビュー作となる。同作品は第2回椋鳩十児童文学賞も受賞。『風に舞いあがるビニールシート』で第135回直木賞を受賞。近著に、『クラスメイツ』（偕成社）、『希望の牧場』（岩崎書店）ほか。

お申込み方法（締め切りは11月10日）

- ① 郵便振替にて、参加費500円をご送金ください。

郵便振替口座 00170-0-280743

加入者名 一般社団法人日本ペンクラブ別段口

※通信欄に「11月15日シンポジウム参加費」と明記の上、ご住所、お名前、お電話番号を必ずご記入ください。

※自己都合によるお申し込み後のキャンセルの場合、参加費の返金はいたしません。ご了承ください。

- ② 着金を確認し次第、入場はがきをお送りいたします。当日はこの入場はがきをお持ちください。